

7-7-2 公益活動SWG

1. 設置目的と組織

(1) 公益活動SWGの設置目的

本SWGは、建設コンサルタント会員全般の技術力向上と公益活動を目的として、以下の方策に取り組んでいる。

- ① コンサルタント相互の技術支援制度の創設
- ② 発注者からの技術相談窓口の設置
- ③ 国総研・土研との分野別実務者レベルの意見交換会の開催
- ④ 本部・支部活動成果（技術資料）の共有ならびに発注者への配布
- ⑤ その他 会員相互および公益に関する活動

(2) 組織

技術課題対応WG（WG長 重永智之技術部会長）の下にSWGが設置されている。SWGは技術委員会より副委員長計3名、道路構造物、道路、河川計画、河川構造物の各専門委員会より各1名、広報委員会より1名、マネジメントシステム委員会より2名の合計10名の委員で構成されている。また、事務局はインフラ研が担当している。

2. 活動記録

(1) 技術相談窓口の運営

会員相互の技術支援を目的とした道路橋技術相談窓口の運営は、今期（道路橋示方書改定後）も継続的に実施されている。これは、道路協会発行の道路橋示方書等基準類の質疑に対する質問を受け付け、建設コンサルタンツ協会が回答（案）を作成し、国総研・土研の確認の下で、質問者に返却するものである。協会支部、本部事務局、回答委員の連携の下、運営されている。回答委員は、各分野を代表する技術者であり協会加盟会社から選出されている。

本活動は国総研の建設コンサルタント成果の品質向上・レベル向上のため必要な活動であるとの認識の下、国総研・土研の全面的な協力を頂き、平成25年9月から運営されているものである。

質問・回答状況は、以下のとおりである。

- a) 平成25年9月～平成26年3月 21件
(内訳 基礎4件、下部工6件、耐震構造10件、その他1件)
- b) 平成26年4月～平成27年3月 10件
(内訳 基礎3件、下部工3件、耐震構造3件、函渠擁壁1件)
- c) 平成27年4月～平成28年3月 15件
(内訳 基礎1件、下部工3件、耐震構造9件、コンクリート構造1件、鋼構造1件)
- d) 平成28年4月～平成29年3月 11件
(内訳 基礎1件、下部工3件、耐震構造5件、鋼構造1件、函渠擁壁1件)
- e) 平成29年4月～平成30年3月 7件
(内訳 コンクリート橋1件、下部工2件、耐震構造3件、函渠擁壁1件)
- f) 平成30年4月～平成31年3月 39件
(内訳 コンクリート編10件、下部工10件、耐震構造15件、鋼橋4件)

(2) 設計計算例講習会の開催

改定道路橋示方書対応SWGと協働して、設計計算例講習会を全国10会場で開催した（詳細は、改定道路橋示方書SWG参照）

詳細は、改定道路橋示方書対応SWGのページ参照

3. 次年度の活動について

次年度も以下の活動を継続的に実施する。本SWGは、多くの分野を扱うことを前提として、組織横断的に委員を募っていたが、活動分野が現時点では道路橋に限定しているため、委員の再編を予定する。

- ① 改定道路橋示方書に対応した技術相談窓口の運営
- ② 実務者レベルの分野別意見交換会の開催
- ③ 改定道路橋示方書対応SWGと連携による講習会の開催
- ④ その他公益に関する事項

(公益活動SWG SWG長 鈴木 泰之)